

病虫害防除技術情報第5号

令和7年7月28日
三重県病虫害防除所

オオバナミズキンバイが水田において発生しています。水田への侵入、水田からの流出に注意しましょう。

1 対象作物：水稻

2 雑草名：オオバナミズキンバイ *Ludwigia grandiflora*

3 発生地域：北勢地域

4 発生状況及び生態、形態

- (1) 2007年に国内で野生化が確認された特定外来生物です。
- (2) その後、近畿地方を中心に全国各地の河川で定着が報告されています。
- (3) 県内の水田においては、令和4年頃から侵入による被害が見られています。
- (4) 種子繁殖または茎の断片による栄養繁殖をします。
- (5) 冬季は低温で大半が枯死しますが、地上部だけを除去しても、生き残った茎断片から発根、再生します。
- (6) 増殖速度が非常に速いです。
- (7) 種子は耐寒性が高く、泥土に埋没し越冬することで休眠打破します。
- (8) 花卉は5枚(ヒレタゴボウは4枚)の黄色い花(図1)であり、径は4~5cmです。地上茎には粘る毛が密生します。葉の縁には細毛があり、茎に交互につきます。

5 今後の対策

- (1) 特定外来生物に指定されているため、栽培、保管・運搬、譲渡、放出は禁止されています。
- (2) 水田畦畔における刈払い(機械除草)による茎断片は拡散を助長するので注意しましょう。
- (3) 水路で繁茂した場合は、除去が必要です。また、断片が残るとそれから再生し拡散しますので、水路からの除去は取りこぼしがないように、地域で協力して行いましょう。

- (4) 除去したものを仮置きする際は、ビニールシートを敷いた上でアスファルトのところに置き、根付かないようにしましょう。
- (5) 発生しているほ場で作業をした場合、農機具に付着した土を通じて拡散する恐れがあります。発生していないほ場から作業を開始しましょう。また、発生しているほ場での作業後は、他のほ場へ移動する前に農機具(ロータリー等)の土(草)をしっかり落としましょう。



図1 花の拡大図



図2 茎葉部の写真



図3 水路への侵入の様子



図4 大量発生した様子

6 その他

- (1) 除草剤の効果については確認中です。
- (2) 農林水産省のHPは以下のとおりです。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/attach/pdf/gairai-9.pdf

7 問い合わせ先

三重県病害虫防除所 電話：0598－42－6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。